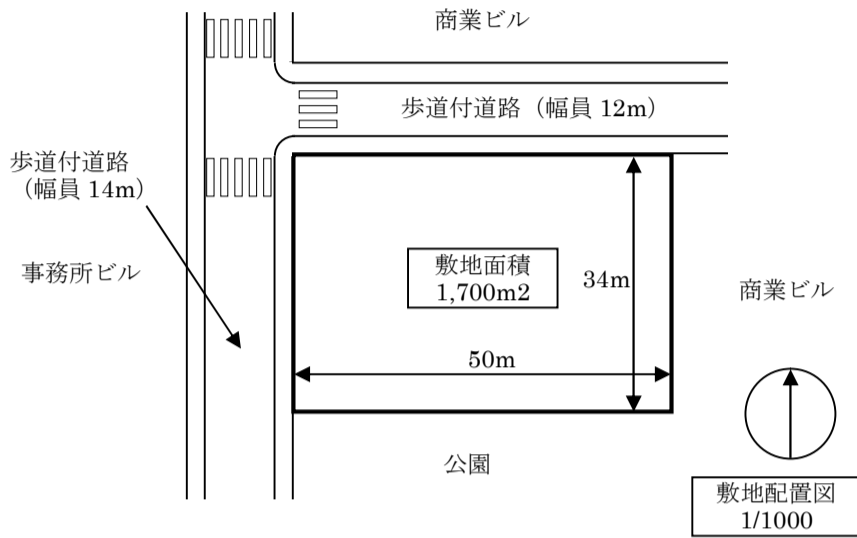


I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の公園に面する敷地において、地域の活性化をめざすコミュニティセンターを計画するものである。新設するコミュニティセンターには、地域住民から活性化の一環としてイベント可能なスペースの要望が出ている。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は近隣商業地域及び準防火地域にあり、建ぺい率の限度は90%、容積率の限度は300%とする。
- 電気、ガス及び上水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
地上2階建ての建物とし、構造形式は自由とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、1,600m²以上、1,900m²以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門設定については提案事項とし、計画の要点にその理由を記するものとする。			
部門	室名	特記事項	床面積
	小ホール	・80名以上の利用を前提とする。 ・天井高さを3.5m以上とする。	適宜
	ホワイエ	・主として小ホール用として利用する。	
	音楽室	・約2m ² /人とし25人が利用する。準備室を設ける。	
	工作室	・準備室を設ける。窓際には工作機器台を配置する。 ・約3m ² /人とし15人が利用する。	
	調理実習室	・調理台を4台設ける。準備室を設ける。	
	セミナー室	・5人程度の小セミナー用とし、控室としても利用する。	
	和室	・茶、琴、生け花の講座用に設ける。	
	イベントルーム	・50人程度が気軽に利用する。 ・市民広場に面して出入口を設ける。 ・レストランのパーティールームとしても利用する。	
	レストラン	・30名以上が利用するものとし、テーブル・イスをレイアウトする。当施設が閉館時も単独で利用できるように計画する。 ・厨房を設け、イベントルームへの動線に配慮する。	
	大会議室	・40名以上が利用可能とし、長机・イスを配置する。	
	中会議室	・20名以上が利用可能とし、長机・イスを配置する。	
	小会議室	・10名以上が利用可能とし、長机・イスを配置する。	
	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・上部に吹抜け(約50m ²)を設ける。	
	事務室	・エントランスホールに面して案内カウンターを設ける。 ・5人用の事務スペースを設ける。	
	館長室	・事務室に隣接して設ける。	
設備スペース	・その他、各自が採用した設備計画に応じて、室外機置場等を計画する。		
・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として2台分を設ける。一般の駐車場は、公園が保有する駐車サービスを利用するものとして考慮しなくてよい。
- 地域住民から要望されているイベントスペースとして市民広場(150m²以上)を設ける。
なお、市民広場は、アプローチ等を兼ねた利用を不可とする。
- 駐輪場は、平面駐輪とし、20台分(2.0mx0.5m)を設ける。
- 施設利用者は誰でもアクセスできる位置に屋上庭園(70m²以上)を設ける。
- (1)~(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティに配慮し、主要な室については、自然採光、通風及び日射遮蔽に配慮した計画とする。
 - 要求室について、適切にゾーニングした計画とするとともに、設定した各部門の動線に配慮した計画とする。かつ避難等にも配慮する。
 - ヒートアイランド現象に対応し、かつ敷地の周辺環境に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式及びスパン割を適切に計画する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - エレベーター等を適切に設ける。

II. 要求図書

答案用紙Iの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ.室名、主要なレベル等 ハ.採用した構造種別、架構形式及びスパン割に応じて必要となる構造要素(凡例の空欄に記入し、図示する。) ニ.設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置 ホ.設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ヘ.断面図の切斷位置 ト.要求室の床面積
(2)2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口、敷地内の主要なレベル ロ.駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ.駐輪場(台数を明示する。) ニ.通路、植栽等 ホ.市民広場
(3)断面図 1/200	③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.1階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 ニ.屋上庭園
(4)2階梁伏図 1/200	① 切斷位置は、エントランスホール吹抜け部分を含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(5)2階梁伏図 1/200	① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使用した場合の断面寸法は、H-O×Oのように記入する。

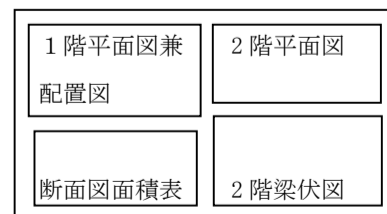
2. 面積表(答案用紙Iに記入)

- 地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙IIに記入)

- 建築計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物へのアプローチについて、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
 - 施設利用者が利用しやすいよう要求室を振り分ける際、設定する部門と工夫したこと
 - セキュリティについて、工夫したこと
 - バリアフリーについて、工夫したこと
- 構造計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
 - スラブ及び小梁の架け方について、工夫したこと
- 設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 空調設備、給排水衛生設備及び電気設備における環境負荷低減のための「設備方式・手法」及び「その具体的な低減効果」について4つ記述すること
 - 「空調室外機」及び「受変電設備」について、その設置場所を記入し、振動防止や維持管理等の観点から工夫したこと

4. 図面レイアウト(製図試験.com 課題のみの指示で本試験では解答用紙Iに記載)



添削希望者は、図面、要点、エスキースを同封して下記住所までお送り下さい。
添削は約1週間程度でご返却します。(添削費用は別途4,000円必要です)
〒553-0002 大阪市福島区鷺洲1-12-24 イーグレット2F 製図試験.com 事務局
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして角2号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。



※この問題文については著作権フリーです。自主勉強会等ご自由にお使いください。

試験場	受験番号	氏名

(1) 建築計画について、次の①～④の要点等を具体的に記述する。
 なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 建築物へのアプローチについて、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと

② 施設利用者が利用しやすいよう要求室を振り分ける際、設定する部門と工夫したこと

部門: 主な要求室
部門: 主な要求室
部門: 主な要求室
部門: 主な要求室
部門: 主な要求室
共用・管理部門
工夫した点

設定する部門は5つを上限とし、いくつでもよい

③ セキュリティについて、工夫したこと

④ バリアフリーについて、工夫したこと

製図試験.comへのご要望等がございましたら、ご活用ください。

(2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由

② スラブ及び小梁の架け方について、工夫したこと

(3) 設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 空調設備、給排水衛生設備及び電気設備における環境負荷低減のための「設備方式・手法」及び「その具体的な低減効果」について4つ記述すること

方式:

方式:

方式:

方式:

② 「空調室外機」及び「受変電設備」について、その設置場所を記入し、振動防止や維持管理等の観点から工夫したこと

空調室外機設置場所:

受変電設備設置場所: